

# なでしこ地域デビュー予備軍育成大作戦

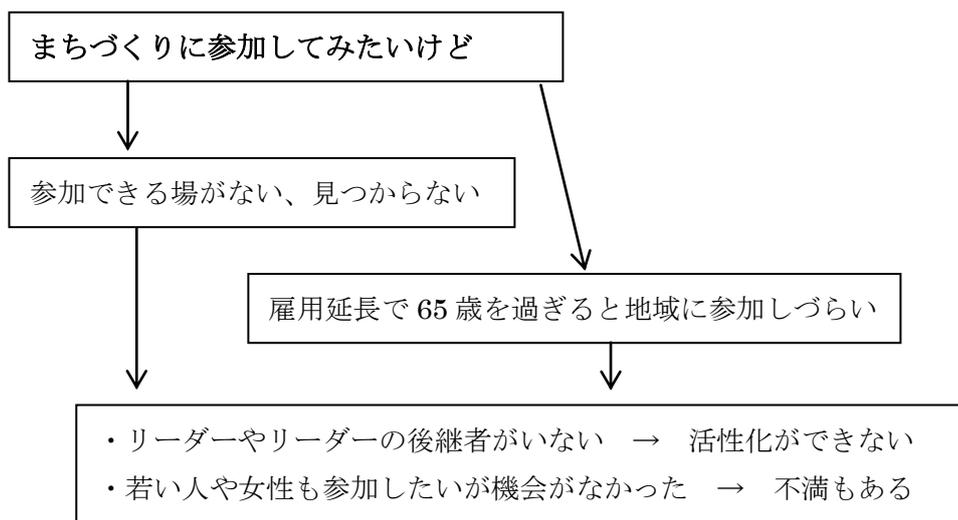
2012・11・13

E班 中村 池上  
高橋 丸山  
小林 古海  
細井 古川

## テーマ選定理由

- 1：現状60歳定年後地域デビューであるが、65歳定年制移行に伴い活動期間が制限される。
- 2：婦人会、青年会、消防団が無くなっているが代替えの活躍できる場が必要。

## 現状の課題



## あるべき姿

- ・もっと若い人や女性の参加が必要なのではないか
- ・各区でいろいろ悩みごとを相談したり共有できないか
- ・現役時代からまちづくりに興味を持つような仕組みづくりが必要ではないか

## 課題を解決する為に

- 1：小中学生の地域行事参加の推進

地域の、イベント、まつり、スポーツ、に子供が参加する仕組みづくりを行う

具体的には子供会育成会組織に、他地域の事例を積極的にPRし自分たちもやらなければとの雰囲気

気にもって行くことで、子育て世代親子で郷土愛が醸成できる。  
(公民館活動、青少年育成会活動、との市民大学の連携等を通じて)

## 2：まちづくり市民大学への参加呼びかけ範囲の拡大

現在、振興会、地域協議会、等を通じて受講者を募っているが、**企業に働きかけて定年後の生きがいつくりの勉強の場、人間形成の場**として上越市まちづくり市民大学への受講生募集を働きかける。

## 3：小・中学校との連携

まちづくり市民大学単独で推進するのでは限界があり、地域と学校との協働で支援していき、これがまちづくりにつながる活動に展開していく。

本年度からコミュニテースクール（学校運営協議会制度）が上越市内に導入され地域ぐるみで楽しく教育に参画する仕組みがスタートした。

### ・具体例

- ① 5年前から中郷中学校は生徒が体験学習の場と地域行事に企画から参加するようになり大変活気が出てきている。
- ② 市民大学で学んでいる方が、地域資源について学校で児童に教えている。

## 4：身近なまちづくり活動の展開

- ① 卒業生が自分にとってなじみのあるエリアで、仲間を集めての活動に限定し成功体験を得る活動を行うことで、新たなまちづくりの担い手拡大が図られると期待する。

### ・具体例

・板倉区のまちづくり市民大学OB5名が中心になり他の団体等にも呼びかけ「板倉おもてなし会」を発足し観光地域おこしをスタート

## まとめ

私たちは今後次のことを進めて行きたい。

- ① まちづくり市民大学でまずはローカルのエリアで共通目的を持った仲間を集め、成功体験を積み重ねることにより、年齢・性別問わず、楽しく活動できる仕掛けを行う。
- ② 小・中学校の支援をまちづくり市民大学OBが一部を担うことで、若い父母が興味をもてるようにする。
- ③ まちづくり市民大学OBと他団体のコラボにより地域づくり実践を進める工夫をする。